

愛知県立大学の学生が、高浜市と共同で
瓦産業をテーマにした外国人向け観光イベントを実施します
「地域ものづくり学生共同プロジェクト」の成果の地域還元を目指して

愛知県立大学「地域ものづくり学生共同プロジェクト」では、地域企業と連携し、「地域ものづくり」について多言語による広報発信を行うと共に、地域活性化を目指した提案も行っています。2017年度前期（4月～8月）には、学生チームCapalaが高浜市創嘉瓦工業株式会社を取材し、英語、フランス語、中国語、日本語による広報を作成しました。この成果をふまえて、産業観光をテーマに、11月12日に外国人留学生と共に高浜市の瓦を体験し意見交換を行う観光イベントを実施します。

「瓦のまち 高浜を知る」概要

実施日時 2017年11月12日（日）
10:00 ~ 17:00（予定）
（名鉄 高浜港駅 集合・解散）

内容 高浜市やきものの里 かわら美術館見学
いぶし瓦づくりの工場見学（創嘉瓦工業株式会社）
豆腐とりめしの昼食（株式会社おとうふ工房いしかわ）
鬼瓦作り体験（株式会社 丸市）



チームCapalaのメンバー

・見学および体験内容について、多言語による資料を準備し、参加者と意見交換を行います。また、豆腐料理の昼食や鬼瓦作り体験では、外国人が好む味付けやデザインなどについて意見交換を行い、今後の商品開発等に役立つ情報収集も目指します。当日の様子を動画に撮影したり、SNSで発信することで高浜市の観光広報にも役立つコンテンツづくりを目指します。

協力 高浜市役所、高浜市観光協会、高浜市やきものの里かわら美術館、創嘉瓦工業株式会社、株式会社おとうふ工房いしかわ、株式会社丸市

本イベントの目的

- ① 県大生が作成した多言語パンフレットの内容について、参加者からのフィードバックを得て、より分かりやすく魅力が伝わるものに改善します。特に、外国人の立場から高浜と瓦文化の魅力を感じるポイントについて情報を得て、それを反映させる予定です。
- ② 外国人留学生に新しい視点（ものづくりと伝統）によるイベントに参加してもらい、その感想を得ると共に、参加した外国人留学生の協力を得て、SNS（Facebook、Instagramなど）を通じて外国語による海外への情報拡散を狙います。
- ③ 今後、外国人観光客に高浜市の産業や観光のPRを行う上で、産業界や観光地における外国人受け入れに関する問題点を整理します。

愛知県立大学「地域ものづくり学生共同プロジェクト」とは、留学を経験した学生中心となり、海外展開に挑戦するこの地域の企業を取材し、多言語で海外向けに発信する記事を制作する産学共同プロジェクトです。企業や商品・製品の特性を研究し、売り込む国のターゲット層の関心と呼ぶための記事を制作することを目的としています。学生が作成する記事は、日本語記事の翻訳ではありません。作成する言語ごとにターゲットを決定し、企業や商品の魅力を、読み手の背景文化も考慮にいたった記事作成を目指しています。また、多言語による発信だけにとどまらず、インバウンドを意識したイベントの企画等にも取り組んでいます。



フランス語版瓦観光パンフレット



【本件に関する問い合わせ先】

愛知県立大学戦略企画・広報室（藤本・伊藤）
高浜市役所総合政策グループ（榎原）

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3
愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

Tel : 0561-76-8636
Tel : 0566-52-1111